



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 (TEL) 03 (3231) 6811
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	27,858	6.5	2,601	24.6	2,684	19.9	1,562	21.7
25年3月期第2四半期	26,158	8.9	2,087	34.2	2,239	35.6	1,283	33.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	55 22	—
25年3月期第2四半期	45 36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	89,853	77,653	86.4
25年3月期	91,350	76,700	84.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 77,653百万円 25年3月期 76,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
26年3月期	—	20 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	6.1	3,100	10.9	3,300	11.8	1,900	2.7	67 14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2014年3月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	28,800,000株	25年3月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	499,234株	25年3月期	499,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	28,300,880株	25年3月期2Q	28,301,224株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	2
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

	平成25年3月期 第2四半期累計期間	平成26年3月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	26,158	27,858	1,699	6.5%
営業利益(百万円)	2,087	2,601	513	24.6%
経常利益(百万円)	2,239	2,684	444	19.9%
四半期純利益(百万円)	1,283	1,562	279	21.7%

売上高は27,858百万円と前年同期に比べ1,699百万円(6.5%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は6,753百万円と前年同期に比べ856百万円(14.5%)増加したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は6,206百万円と前年同期に比べ535百万円(9.4%)増加しました。また、本年5月に販売を開始しました「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」については313百万円となりました。

費用面におきましては、売上原価は売上高が増加したことに加え、販売品目の構成が変化したことにより12,174百万円と前年同期に比べ971百万円(8.7%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が減少したものの、販売促進費等が増加したことにより13,082百万円と前年同期に比べ213百万円(1.7%)増加しました。

以上の結果、営業利益は2,601百万円と前年同期に比べ513百万円(24.6%)増加し、経常利益は2,684百万円と前年同期に比べ444百万円(19.9%)増加しました。四半期純利益につきましては1,562百万円と前年同期に比べ279百万円(21.7%)増加しました。

(2) 財政状態

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、89,853百万円と前事業年度末に比べ1,496百万円(1.6%)減少しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が17,861百万円、受取手形及び売掛金が1,124百万円増加しましたが、有価証券が15,588百万円、現金及び預金が5,566百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、12,200百万円と前事業年度末に比べ2,449百万円(16.7%)減少しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が3,135百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、77,653百万円と前事業年度末に比べ952百万円(1.2%)増加しました。これは、主に利益剰余金が996百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、33,522百万円と前事業年度末に比べ16,294百万円(94.6%)増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が2,681百万円、減価償却費が506百万円となりましたが、未払金の減少額が3,192百万円、売上債権の増加額が1,124百万円、たな卸資産の増加額が679百万円、法人税等の支払額が671百万円となったこと等により1,933百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は157百万円の支出)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が2,997百万円、投資有価証券の取得による支出が1,403百万円となりましたが、有価証券の売却及び償還による収入が19,600百万円、定期預金の払戻による収入が4,000百万円となったこと等により18,873百万円の収入となりました。(前第2四半期累計期間は442百万円の収入)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が566百万円となったことにより645百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は574百万円の支出)

(3) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は3,252百万円であります。

なお、スギ花粉症に対する舌下投与による減感作(免疫)療法薬につきまして、製造販売承認申請中の「T0-194SL」(舌下液)に加えて、「T0-206」(舌下錠)の国内第I相臨床試験を開始しております。

また、日本たばこ産業株式会社と共同で開発を進めておりますヒスタミン二塩酸塩製剤「JTE-350」について、国内第III相臨床試験を開始しております。本剤は、厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成25年4月25日「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の当該予想数値を以下のとおり修正しております。

	平成26年3月期 前回予想	平成26年3月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	平成25年3月期 実績
売上高(百万円)	55,500	55,500	0	0.0%	52,294
営業利益(百万円)	2,700	3,100	400	14.8%	2,794
経常利益(百万円)	2,800	3,300	500	17.9%	2,952
当期純利益(百万円)	1,700	1,900	200	11.8%	1,849

売上高は、前回発表予想を変更しておりませんが、利益面におきましては、販売費及び一般管理費が計画より減少する見込みとなったことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を上回る見通しとなりました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,903	336
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	6,324	24,185
受取手形及び売掛金	20,248	21,373
有価証券	29,197	13,608
商品及び製品	4,970	5,193
仕掛品	477	637
原材料及び貯蔵品	2,082	2,378
その他	2,288	2,120
流動資産合計	71,492	69,835
固定資産		
有形固定資産	5,652	5,942
無形固定資産	639	586
投資その他の資産	13,566	13,489
固定資産合計	19,857	20,018
資産合計	91,350	89,853
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,674	5,463
未払法人税等	713	1,159
賞与引当金	1,210	1,280
役員賞与引当金	55	30
返品調整引当金	0	0
その他	6,315	3,359
流動負債合計	13,969	11,295
固定負債		
退職給付引当金	134	160
その他	546	744
固定負債合計	680	905
負債合計	14,650	12,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	65,594	66,591
自己株式	△858	△858
株主資本合計	76,341	77,338
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	358	314
評価・換算差額等合計	358	314
純資産合計	76,700	77,653
負債純資産合計	91,350	89,853

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	26,158	27,858
売上原価	11,202	12,174
売上総利益	14,956	15,683
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,792	1,958
給料及び手当	2,292	2,414
賞与引当金繰入額	1,014	1,070
研究開発費	3,686	3,252
その他	4,083	4,386
販売費及び一般管理費合計	12,868	13,082
営業利益	2,087	2,601
営業外収益		
受取利息	56	47
受取配当金	57	24
為替差益	21	—
その他	19	20
営業外収益合計	155	92
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	8
その他	2	1
営業外費用合計	3	9
経常利益	2,239	2,684
特別損失		
固定資産除却損	20	2
ゴルフ会員権評価損	7	—
特別損失合計	28	2
税引前四半期純利益	2,211	2,681
法人税等	927	1,118
四半期純利益	1,283	1,562

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,211	2,681
減価償却費	504	506
受取利息及び受取配当金	△114	△71
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	20	2
売上債権の増減額(△は増加)	△373	△1,124
たな卸資産の増減額(△は増加)	684	△679
仕入債務の増減額(△は減少)	44	△210
未払金の増減額(△は減少)	2,487	△3,192
長期前払費用の増減額(△は増加)	△3,455	382
その他	△644	351
小計	1,365	△1,353
利息及び配当金の受取額	138	91
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,660	△671
営業活動によるキャッシュ・フロー	△157	△1,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,000	—
定期預金の払戻による収入	23,000	4,000
有価証券の取得による支出	—	△2,997
有価証券の売却及び償還による収入	1,300	19,600
有形固定資産の取得による支出	△782	△277
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△99	△49
投資有価証券の取得による支出	△999	△1,403
その他	22	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	442	18,873
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△566	△566
リース債務の返済による支出	△8	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574	△645
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△289	16,294
現金及び現金同等物の期首残高	17,382	17,228
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,092	33,522

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

2014年3月期 第2四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2014年3月期 第2四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 四半期キャッシュ・フロー計算書	P.6
⑤ 設備投資の状況	P.7
⑥ 非資金項目	P.7
⑦ 研究開発の状況	P.7
III 2014年3月期 業績予想	P.8
① 損益計算書	P.8
② 製商品別売上高	P.10
③ 設備投資の状況	P.11
④ 非資金項目	P.11
⑤ 配当	P.11
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.11

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2013年10月31日

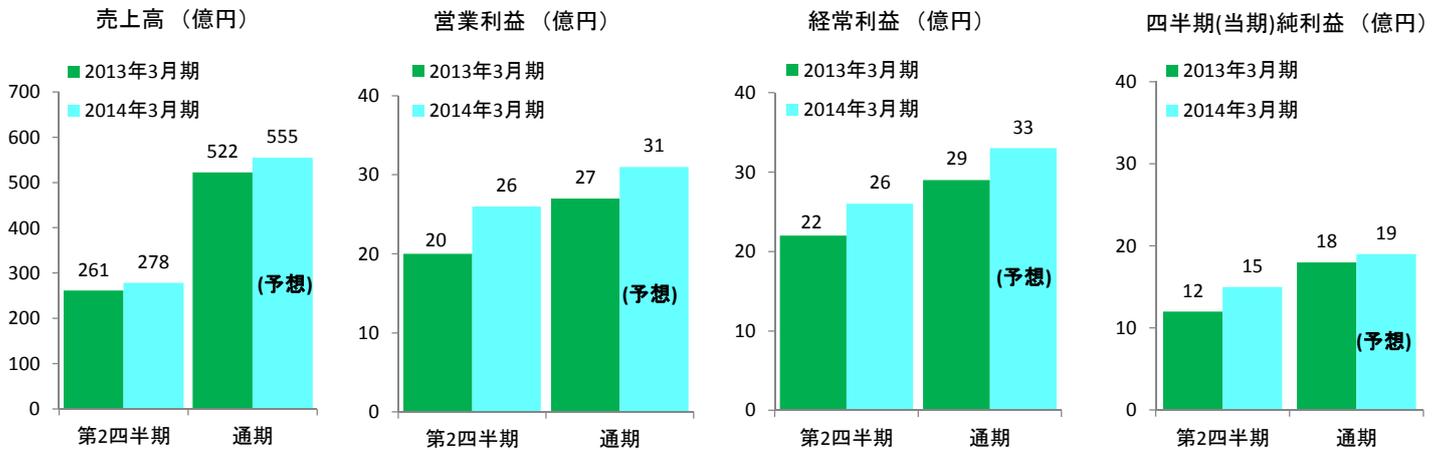


鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

(単位:百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	26,158	27,858	1,699	6.5	52,294	55,500	50.2
営業利益	2,087	2,601	513	24.6	2,794	3,100	83.9
経常利益	2,239	2,684	444	19.9	2,952	3,300	81.3
四半期(当期)純利益	1,283	1,562	279	21.7	1,849	1,900	82.3
(参考)							
研究開発費	3,686	3,252	△433	△11.8	7,824	7,000	46.5
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 45.36	55.22	9.86		65.36	67.14	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.7	2.0	0.3		2.4	-	
総資産経常利益率	(%) 2.5	3.0	0.5		3.3	-	
売上高営業利益率	(%) 8.0	9.3	1.3		5.3	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 1.4	1.7	0.3		2.1	-	



② 財政状態

(単位:百万円)	2013年3月期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	91,350	89,853	△1,496	△1.6
純資産	76,700	77,653	952	1.2
自己資本比率	(%) 84.0	86.4	2.4	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,710.18	2,743.86	33.68	

Ⅱ 2014年3月期 第2四半期実績

① 四半期損益計算書

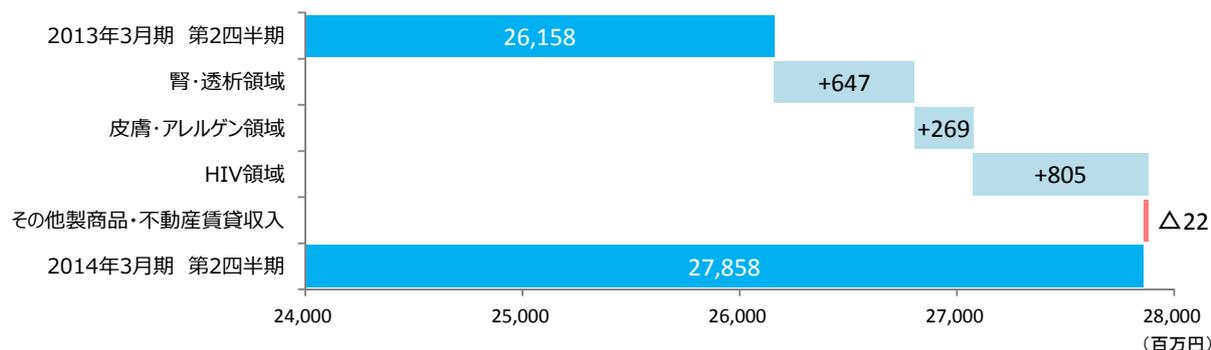
(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第2四半期 A	第2四半期 B		
売上高	26,158	27,858	1,699	6.5
製商品売上高	26,044	27,745	1,701	6.5
腎・透析領域	10,538	11,185	647	6.1
皮膚・アレルギー領域	6,196	6,466	269	4.3
HIV領域	5,923	6,729	805	13.6
その他	3,385	3,364	△20	△0.6
不動産賃貸収入	114	112	△1	△1.5
売上原価	11,202	12,174	971	8.7
製商品売上原価	11,172	12,145	973	8.7
不動産賃貸原価	30	29	△1	△4.9
売上総利益	14,956	15,683	727	4.9
販売費及び一般管理費	12,868	13,082	213	1.7
販管費(研究開発費除く)	9,182	9,829	647	7.1
研究開発費	3,686	3,252	△433	△11.8
営業利益	2,087	2,601	513	24.6
営業外収益	155	92	△62	－
営業外費用	3	9	6	－
経常利益	2,239	2,684	444	19.9
特別損失	28	2	△25	－
税引前四半期純利益	2,211	2,681	470	21.3
法人税等	927	1,118	191	20.6
四半期純利益	1,283	1,562	279	21.7

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2013年3月期	2014年3月期	増減
	第2四半期 A	第2四半期 B	
売上原価	42.8	43.7	0.9
販売費及び一般管理費	49.2	47.0	△2.2
研究開発費	14.1	11.7	△2.4
営業利益	8.0	9.3	1.3
経常利益	8.6	9.6	1.0
四半期純利益	4.9	5.6	0.7

【対前年同期実績増減要因】

売上高 (27,858百万円 対前年同期+1,699百万円)

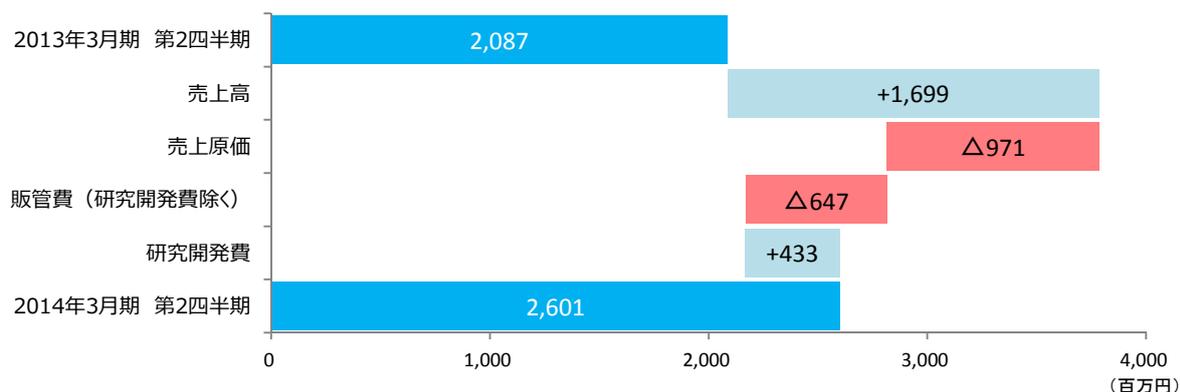


主な増減要因

腎・透析領域	: レミッチカプセル +856百万円	: ケイキサレート +176百万円
	: 注射用フサン △203百万円	: ユリノーム錠 △182百万円
皮膚・アレルギー領域	: アンテベート +251百万円	
HIV領域	: ツルバダ配合錠 +535百万円	: スタビルド配合錠 +313百万円

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益 (2,601百万円 対前年同期+513百万円)



主な増減要因

売上原価	: 売上高の増加、販売品目の構成変化
販管費 (研究開発費除く)	: 販売促進費、給料及び手当、販売権 (スタビルド配合錠) の償却費の増加
研究開発費	: 臨床試験費用の減少

経常利益 (2,684百万円 対前年同期+444百万円)

特記事項: 特になし

四半期純利益 (1,562百万円 対前年同期+279百万円)

特記事項: 特になし

② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第2四半期 A	第2四半期 B		
製商品売上高	26,044	27,745	1,701	6.5
レミッチカプセル	5,896	6,753	856	14.5
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	5,671	6,206	535	9.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	3,403	3,655	251	7.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
注射用フサン ※1	2,241	2,037	△203	△9.1
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ユリノーム錠 ※1	1,443	1,261	△182	△12.6
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ケイキサレート ※1	957	1,134	176	18.4
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	900	993	92	10.3
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ゼフナート	930	952	22	2.4
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
ドボネックス軟膏	966	934	△32	△3.4
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ロコイド ※1	694	714	20	2.9
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	636	637	1	0.2
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
スタビルド配合錠 ※2	—	313	313	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
その他製商品	2,302	2,152	△150	△6.5

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、本年5月から販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
	第2四半期 A	第2四半期 B		
自社品売上高	9,739	9,828	89	0.9
自社品比率 (%)	37.4	35.4	△2.0	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第2四半期 B			
流動資産	71,492	69,835	△1,657	△2.3	77.7
現金及び預金	5,903	336	△5,566		
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	6,324	24,185	17,861		
受取手形及び売掛金	20,248	21,373	1,124		
有価証券	29,197	13,608	△15,588		
たな卸資産	7,530	8,210	679		
その他	2,288	2,120	△167		
固定資産	19,857	20,018	160	0.8	22.3
有形固定資産	5,652	5,942	290		
無形固定資産	639	586	△52		
投資その他の資産	13,566	13,489	△77		
投資有価証券	5,379	5,692	312		
長期前払費用	6,187	5,805	△382		
その他	1,999	1,991	△7		
資産合計	91,350	89,853	△1,496	△1.6	100.0
流動負債	13,969	11,295	△2,674	△19.1	12.6
買掛金	5,674	5,463	△210		
未払金	5,280	2,145	△3,135		
未払法人税等	713	1,159	446		
賞与引当金	1,210	1,280	70		
その他	1,090	1,245	155		
固定負債	680	905	224	33.0	1.0
負債合計	14,650	12,200	△2,449	△16.7	13.6
株主資本	76,341	77,338	996	1.3	86.1
評価・換算差額等	358	314	△43	△12.2	0.3
純資産合計	76,700	77,653	952	1.2	86.4
負債純資産合計	91,350	89,853	△1,496	△1.6	100.0

主な増減要因

(流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の増加による増加
- 有価証券 : 譲渡性預金及び債券の償還による減少
- たな卸資産 : 商品の増加

(固定資産)

- 投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少
- 長期前払費用 : 販売権の償却による減少

(流動負債)

- 未払金 : 販売権（スタビルド配合錠）の取得に係る契約一時金の支払による減少

(純資産)

- 株主資本 : 四半期純利益による増加、配当金の支払による減少

④ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額
	第2四半期 A	第2四半期 B	
税引前四半期純利益	2,211	2,681	470
減価償却費	504	506	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△373	△1,124	△750
たな卸資産の増減額 (△は増加)	684	△679	△1,364
仕入債務の増減額 (△は減少)	44	△210	△254
未払金の増減額 (△は減少)	2,487	△3,192	△5,679
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△3,455	382	3,838
法人税等の支払額	△1,660	△671	989
その他	△599	374	973
営業活動によるキャッシュ・フロー	△157	△1,933	△1,775
有形固定資産の取得による支出	△782	△277	504
無形固定資産の取得による支出	△99	△49	49
その他	1,323	19,200	17,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	442	18,873	18,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574	△645	△71
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△289	16,294	16,584
現金及び現金同等物の期首残高	17,382	17,228	△154
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,092	33,522	16,430

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金（預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く）、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券（取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く）からなっております。

主な増減要因

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

未払金の増減額 : 当期 販売権（スタビルド配合錠）の取得に係る契約一時金の支払
 長期前払費用の増減額 : 前期 販売権（スタビルド配合錠等）の取得

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

その他 : 当期 有価証券の償還

⑤ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期	第2四半期		
	A	B		
設備投資額	981	747	△233	△23.8
有形固定資産	892	699	△192	△21.6
無形固定資産	88	47	△41	△46.3

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資

無形固定資産：主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資

⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期	第2四半期		
	A	B		
減価償却費	504	506	2	0.5
長期前払費用償却費	295	409	114	38.6

⑦ 研究開発の状況

開発番号	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751	高リン血症	経口剤					申請	<ul style="list-style-type: none"> ・ケリックス社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ・日本たばこ産業(株)が2013年1月7日に製造販売承認申請
アレルギー領域								
TO-194SL	スギ花粉症 (減感作(免疫)療法薬)	舌下液					申請	<ul style="list-style-type: none"> ・自社開発 ・2012年12月25日に製造販売承認申請
TO-203	ダニを抗原とするアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作(免疫)療法薬)	舌下錠		Phase II / III				<ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-204	ダニを抗原とするアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (減感作(免疫)療法薬)	注射剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-205	アレルギー性疾患のアレルゲンの確認 (アレルゲン検査薬(ダニ))	注射剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-206	スギ花粉症 (減感作(免疫)療法薬)	舌下錠	Phase I					<ul style="list-style-type: none"> ・自社開発
JTE-350	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール (ヒスタミン二塩酸塩製剤)	注射剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

前回公表時(2013年7月29日)からの変更点：TO-206の国内Phase Iの開始、JTE-350の国内Phase IIIの開始

Ⅲ 2014年3月期 業績予想

① 損益計算書

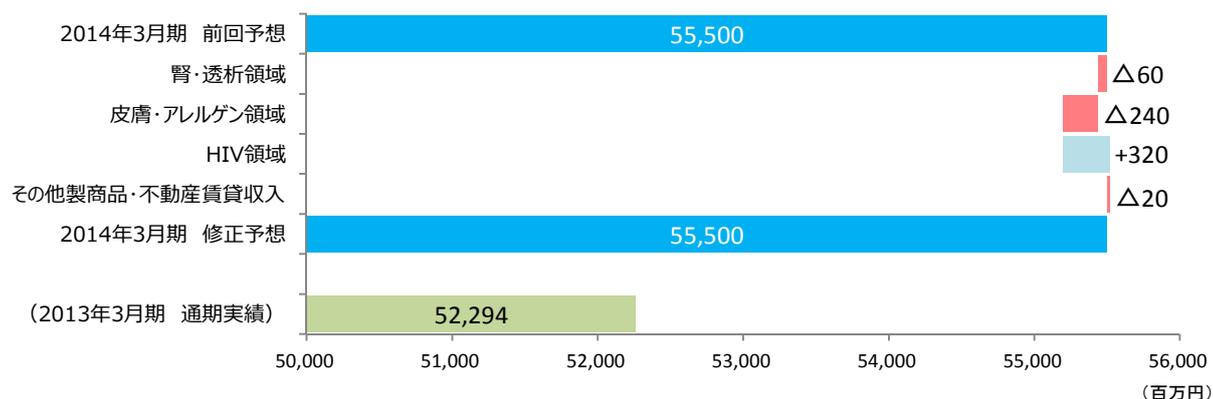
(単位:百万円)	2014年3月期	2014年3月期	修正額	2013年3月期	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想	修正予想		通期実績		
	A	B		C		
売上高	55,500	55,500	0	52,294	3,205	6.1
製商品売上高	55,280	55,280	0	52,067	3,212	6.2
腎・透析領域	22,580	22,520	△60	21,373	1,146	5.4
皮膚・アレルギー領域	12,670	12,430	△240	11,942	487	4.1
HIV領域	13,560	13,880	320	12,073	1,806	15.0
その他	6,470	6,450	△20	6,678	△228	△3.4
不動産賃貸収入	220	220	0	226	△6	△3.1
売上原価	24,800	24,900	100	22,841	2,058	9.0
売上総利益	30,700	30,600	△100	29,452	1,147	3.9
販売費及び一般管理費	28,000	27,500	△500	26,658	841	3.2
販管費 (研究開発費除く)	20,800	20,500	△300	18,834	1,665	8.8
研究開発費	7,200	7,000	△200	7,824	△824	△10.5
営業利益	2,700	3,100	400	2,794	305	10.9
経常利益	2,800	3,300	500	2,952	347	11.8
当期純利益	1,700	1,900	200	1,849	50	2.7

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2014年3月期	2014年3月期	増減	2013年3月期	増減
	前回予想	修正予想		通期実績	
	A	B		C	
売上原価	44.7	44.9	0.2	43.7	1.2
販売費及び一般管理費	50.4	49.5	△0.9	51.0	△1.5
研究開発費	13.0	12.6	△0.4	15.0	△2.4
営業利益	4.9	5.6	0.7	5.3	0.3
経常利益	5.0	5.9	0.9	5.6	0.3
当期純利益	3.1	3.4	0.3	3.5	△0.1

【2014年3月期 対前回予想増減要因】

売上高（55,500百万円 対前回予想変更なし）

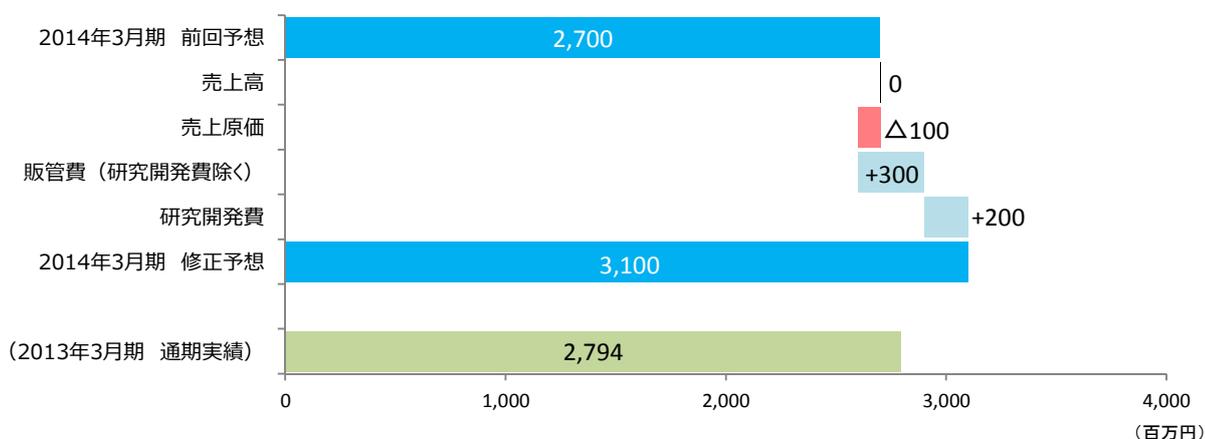


主な増減要因

腎・透析領域	: 注射用フサン	△310百万円	レミッチカプセル	+150百万円
		ユリノーム錠	+100百万円	
皮膚・アレルギー領域	: ドボネックス軟膏	△120百万円		
HIV領域	: ツルバダ配合錠	+600百万円	スタリビルド配合錠	△250百万円

※詳細はP.10「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（3,100百万円 対前回予想+400百万円）



主な増減要因

売上原価	: 販売品目の構成変化
販管費（研究開発費除く）	: 学術費の減少
研究開発費	: 臨床試験費用の減少

経常利益（3,300百万円 対前回予想+500百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（1,900百万円 対前回予想+200百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	55,280	55,280	0	52,067	3,212	6.2
レミッチカプセル	13,600	13,750	150	12,106	1,643	13.6
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]						
ツルバダ配合錠	11,400	12,000	600	11,594	405	3.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]						
アンテベート ※1	7,090	7,180	90	6,766	413	6.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]						
注射用フサン ※1	4,340	4,030	△310	4,533	△503	△11.1
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]						
ユリノーム錠 ※1	2,300	2,400	100	2,751	△351	△12.8
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]						
ケイキサレート ※1	2,340	2,340	0	1,982	357	18.0
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]						
ビオスリー	2,030	1,990	△40	1,886	103	5.5
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]						
ドボネックス軟膏	1,950	1,830	△120	1,892	△62	△3.3
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]						
ゼフナート	1,510	1,600	90	1,505	94	6.3
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]						
スタビルド配合錠 ※2	1,740	1,490	△250	—	1,490	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]						
ロコイド ※1	1,360	1,390	30	1,350	39	3.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]						
マグセント	1,370	1,340	△30	1,270	69	5.5
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]						
その他製商品	4,250	3,940	△310	4,428	△488	△11.0

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、本年5月から販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	19,700	19,310	△390	19,380	△70	△0.4
自社品比率 (%)	35.6	34.9	△0.7	37.2	△2.3	—

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
設備投資額	957	1,316	359	1,374	△58	△4.3
有形固定資産	748	1,090	342	1,241	△151	△12.2
無形固定資産	209	226	17	132	93	70.4

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資

無形固定資産：主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
減価償却費	1,164	1,015	△149	1,061	△46	△4.4

⑤ 配当

	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
1株当たり配当金 ※ (円)	40	40	0	40	0	0.0
配当性向 (%)	66.6	59.6	△7.0	61.2	△1.6	-

※ 2013年10月31日開催の取締役会において、2014年3月期の中間配当を1株当たり20円にて行う旨決議しております。

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 訴訟の提起